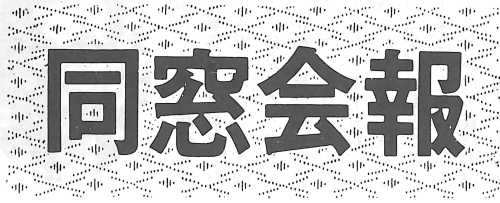


紙面紹介

- 1頁 会長あいさつ、総会案内
- 2頁 学校長あいさつ  
定時制の現況
- 3頁 母校の現況  
勲勉先生、誠実生徒
- 4～5頁 学・体部、奮闘の1年
- 6頁 同窓会館、支部連絡先
- 7頁 事務局報告、予・決算
- 8頁 同窓会規約、編集後記

福島県立郡山北工業高等学校



同窓会報

発行所  
〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1  
福島県立郡山北工業高等学校同窓会  
郡山 (0249) 32-1199・32-6217  
発行者 渡辺達英  
編集代表 高野和雄  
写真撮影 宮部正吉  
発行部数 7,000部

---

印刷所  
(有)ヤシマ孔房  
〒963 郡山市菜根1-6-21  
☎ 22-3533代



同窓会長  
渡辺達英

我が身を  
つねって

青少年の犯罪が低年齢化して、小学生の間にも広がっているが困ったことである。ふと「我が身をつねって、人の痛さを知れ」と云う諺を思い出す。

私の子供の頃は第二次世界大戦前中頃で、スパルタ式の教育であった。小学校でも宿題を忘れたり、国語の教科書が読めなかったり、つまづいたりするとすぐ立たされたり、耳をつまんで引っぱられたりで、それが恐しくて宿題や、予習をしたものである。塾等はなかったし、そうかといつて家庭教師をつけた子はいなかったように思う。たとえあったにしても医者の子供か金持(昔はそうだった)の子供しかそのようなことはなかったと思う。

授業中にちよつと騒がしいとチヨークが飛んで来たり、太い竹の根っ子の鞭(指示棒)で頭を叩かれる、それでも涙をこらえて頑張

つたものである。また家に帰ると一寸悪いこと(本人は悪いと思っていない時でも)をして口より早く拳が飛んで来る。母のそばにはいつも三尺(約一米)の竹尺があつて、これで叩かれたり、よく痛い思いをしたものである。しかし今の子供たちは幼児の頃から親にも叩かれず、学校に行つても痛い思いをしない、自分で痛いと思うのは、転んで怪我をした時くらいであらう。

子供のうちから痛さを知らない子供が喧嘩をすると相手かまわず叩くので大怪我をさせたり、果は刃物で傷をつけたり、思い切つた行動に出る子が多いように見られる。今の子供たちの喧嘩を見ていくと、行動よりも口論が多く、そのストレスが相手を叩きのめすことになるのであろう。私たちの頃は喧嘩をしても、口論から行動にうつり取っ

組み合いをして、上になり、下になり相手が泣き出すか、鼻血を出したりすると終つたものであった。

三つ子の魂百までというが、幼少の頃からしっかりと教育しておかないと、後で取返しのないことになる。そういう意味では各家庭での教育が一番大切であるが、子供を叱つたり、叩いたりしないことを美德に思っている親が多く、これが子供たちのエゴと甘えを増長させていると思われる。子供を見れば親がわかるというくらいであるから、親の家庭での躾がなにより大切である。しかし学校に入ると、教育は学校まかせで何かで子供が叱られ、叩かれたりすると、学校にカミツク親がいることは嘆わしい。このようなことを書いても卒業生諸君は「会長何を書いている」と思うだろうが、諸君の家庭生活と、今の自分の生活をふり返つて、良く反省してみることだ。

同窓会員数

(本日現在見込み)

郡山工(金)	五、八四三
同(定)	七、六九
郡西工	三、一七三
郡北工(金)	二、二二二
同(定)	二、四〇
計	二二、一七九

昭和57年度  
同窓会  
総会通知

昭和57年度定期総会を左記のように開催いたします。多数参加して下さいませよう。ご案内申し上げます。尚新会員はご招待いたしますので、会費は無料です。

記

- 一、五月十六日(日) 午後二時より
- 一、場所 多楽食堂
- 一、郡山市堤下町
- 一、会費 三千元 (当日持参下さい)

懇親会

文房具・事務用品・ファンシー・アクセサリ・画材

有限会社 **渡 達**

郡山市麓山通り (市民会館入口) TEL 22-1159

# 四四六名が 先輩の職場等へ

学校長 山口 博



昭和五十七年の新春を迎え、先輩各位には益々ご壮健で、各界においては活躍のことと拝察いたしてご活躍です。本校も統合後六年目を迎えた訳ではありますが、在校生諸君も先生方も、先輩の残された良き伝統を受けついで全国に範となるような工業高校をめざして、学芸文化・体育・資格取得に専念している所でありま

す。本校は市の中心部より大分離れたが、八九、八〇〇㎡(約二七、〇〇〇坪)の敷地に、三九、八〇〇㎡(約一二、〇〇〇坪)の運動場と、一五、〇〇〇㎡の建物を持ち、一学年十二学級と県内一の大規模工業高校となりました。このため

全国各地から訪問・視察が相次いでいる状況にあります。この恵まれた施設設備を十分に活用して、先輩のあとに続いてゆける産業人を育ててゆくことが、わたくしたちの責務と感じている所であります。

次に、昭和五十五年十二月に、先輩各位の絶大なるご支援により完成した同窓会館も、在校生諸君が感謝の気持ちのなかで大切に使用し、部活動・ホームルームに役立てております。ここにあらためて厚くお礼を申し上げます。近く、校舎からの渡り廊下を設置したいと計画している所でありま

す。最近不況などと言われておりますが、三年生の就職・進学状況も極めて良好であります。殆んどが内定の段階にあります。地元志向が多いなかで、担任担当の先生方の努力に敬意を表する次第であります。さらには諸先輩の各界に残された業績が、本校生への信用となつてあらわれていることを見逃すことができません。この点についてもこの機会にお礼を申し上げます。最後に、近く四四六



教頭 山田 善之助

## 定時制の現況

定時制教育は、戦後の画期的な教育改革によつて、勤労青少年を対象に教育の機会均等の理念に基づいて制度化されたものですが、以来三十有余年、その間に急速な高度成長の時代から石油第一次・第二次ショックによる各企業の合理化や統廃合、そして構造的な不況等社会・経済の変化や教育に対する意識の変化、さらには出生率の低下による中学校生徒数の減少等によつて、定時制への生徒数は近年減少傾向をたどつております。

こうした時代の推移から本校定時制も大変厳しい状況にあります。働きなが

名の後輩が、先輩の近くの職場等に参加するので、よろしくご指導下さるようお願いいたします。

ご自愛とご活躍をお祈りします。

資格試験・国家試験に有利なコースであります。現在のこのコースに在籍している生徒は電気工士さらに上級の高圧電気工事士の資格試験に合格して所期の目的を達成し意欲を燃やしています。

次に、地元の東北鉄道学園生が技能連携校である科学技術学園高校通信課程三年終了後四年時に本校へ転学を希望している。これを受け入れる措置をとつたことが挙げられます。五十六年度は二十八名の転入生がありましたが、五十七年度は二十四名の者が転入を希望しております。時代の変容に対応する措置として今後も前向きに対処していきたいと考えております。

伝統ある本校定時制の充実発展のため今後とも関係企業側との緊密な連携のもとで、職場における勤労を教育的に更に有効に結びつけ、「ゆとり」の時間の活用とともに、人間性豊かな生徒の育成を期して教職員一同最善の努力を傾注いたしております。どうか定時制教育の振興に今後とも一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

同窓生各位のご健康と益々のご発展を祈念しつつ現況報告といたします。

ビックカウンター店 ☎24-0541



郡山市中町ビュープラザ2F



# 母校の現況

教頭 佐藤 富重

同窓生の皆様には益々ご健祥にてご活躍のことと存じます。

昨年度は、校舎落成記念式典・同窓会館の建設及び落成祝賀と皆様方に大へんお世話様になりました。紙上をかり改めて感謝の意を捧げ厚くお礼申し上げます。

お蔭様にて同窓会館には調度品等も完備され、生徒会役員研修・各運動部文化部の合宿やホームルーム活動など教科外活動に有効に使用させていただいております。

先輩各位の在学中の体育館ステージや機具室等での合宿の時代と較べ恵まれた施設設備での合宿には昔日の感深いものがあります。渡り廊下も年度内に設置するよう作業を進めています。

五十五年卒業記念の前庭植栽も益々緑を増し、昨秋は見事なドウダンの紅葉でした。年毎の成長を楽しみにしております。また、本年度卒業記念庭園も玄関東側に着工中で、表玄関に

ふさわしい立派なものができると見込んでいます。校舎中庭・玄関前ロータリーと合せて校舎にマッチした緑化庭園となることと見込んでいます。校地北西部のソフトボール場には年度内に実習棟側に防球ネットが建設されます。

教科指導・学習の面でも年毎に向上しております。明年度からは新教育課程が実施され普通教科・工業科目とも改訂実施されます。工業科目では工業基礎・工業数理が導入され各教科共通の学習内容をもつ実験実習を主体とする工業基礎の準備に取組んでおります。

電気工士・高圧電気工事技術者・危険物取扱者・ボイラー・技術士・情報処理技術者ほかアマ無線・特殊無線・情報技術検定・製図検定・アーケ溶接試験・ガス溶接講習など数多くの合格者

を出しております。特に、本年度は全国でも珍らしく在学中第三種電気主任技術者(電検三種)に二名の合格者を出す実績をあげております。

以上、学校概況の一端をあげましたが、今後共、学



# 勤勉先生 誠実生徒

教頭 箱崎 和雄

同窓生の皆さん、御元気に御活躍の事と存じます。

丹治教頭の後任として四月からお世話になっております。前任者同様御支援と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

冒頭から私事で恐縮ですが、私は昭和二十六年に本県に奉職以来、ずっと普通高校に勤務し今回初めて実業高校に勤務した次第ですが、特に本校の規模の大きさ、施設設備の斬新さ、それにまして先生方の勤勉さ、生徒諸君のまじめさに驚いております。

前年から東北一とか、全国屈指とか噂には聞いておりましたが、着任してその内容を知るにつれ見るにつれ、身も心も引き締めざるを得

習内容の充実・生徒指導の徹底・部活動の振興・工業資格の取得を目標とし、全国一の工業高校を目指して参ります。同窓生各位の母校発展のためのご協力ご援助をお願い申し上げます。

ない想いをしております。このような状況は一朝一且にして出来るものではありません。郡工・西工二校の古い良き伝統と統合された北工の新しい息吹が、混然一体となった中で新しい工業高校の在り方を求めて、同窓生の皆さんを始めとした関係諸方面の温かい御支援と御鞭撻を得つつ、教師と生徒が鋭意努力している姿の現われであろうと愚考しております。

お蔭様を持ちまして、本校生徒諸君がその生活面や行動面、他の何校かに見られるような非行や悲惨な事故については、今年度に入って一件の発生もみておりません。これも先生方の献身的な御指導と努力があればこそと、日頃

敬服している処ですが、本校生が素直にこれらの指導を受け、かつ、それを遵守する謙虚さとまじめさがあるからだと思いき、感謝している次第です。

次に生徒諸君の活動状況についてお知らせ致します。三年生の進路状況については、その方面の係から、部活動の詳細については別掲部活特集を御覧いただければ幸甚と存じますので、ここでは特記すべき事のみ記載することにします。今年度は、昨年度のように、インターハイに五種目出場と云うような華々しさは見られませんでしたが、ソフトボールの県高体・県体の四年連続優勝、然も国民体育大会八位、東北三・二国体初優勝と云う輝かしい成績を始め、サッカー、弓道、軟陸、陸上等に目覚ましい活躍がみられ、北工の意気を大いに高揚しております。

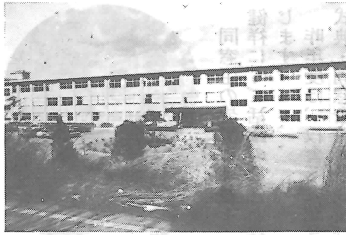
又、学芸・文化・専門方面においては、角川文庫全国読書感想文コンクール第三位、全国高校デザイン写真コンクールアマ部門第三位、第一回県高計算技術競技大会団体第二位の他、電気事業主任技術者三種の取得者が二名出る等、注目される好成绩をあげております。

工作機械 / 板金機械 / 熔接機材 / 作業工具 / 測定工具 / 研磨材

## 株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤 英 二 (28年度建築科卒)

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号 ☎(0249) 33-0611 (代)



校舎全景

# 学・体部活、奮闘の1年

## 吹奏楽・サッカー・庭球など

### 定期演奏会

#### 吹奏楽部

吹奏楽部の行事は種々ありますが、その中で最も力を入れていた行事が二つあります。一つは八月末に行なわれた吹奏楽コンクールです。課題曲と自由曲を十二分間という限られた時間で演奏し、五人の審査員が優劣をつけるのです。その結果、今年度はAクラス(大編成の部)で銀賞を受賞しました。金賞は磐城高校、湯本高校、原町高校と浜通り地区が独占しました。来年度は是非金賞さらには県代表として東北大会に出場できるように頑張りたいと思います。

もう一つの大きい行事は定期演奏会です。今年は二月十一日、午後二時より市民会館で行なわれました。プログラムは一部でクラシックの六曲に挑戦し、二部は県内唯一のステージドリル、三部はO・Bと共に親しみやすいポップスを用意しています。楽しい演奏会にしようとして夜遅くまで寒さを吹き飛ばしてB棟三階で練習に励みました。皆様のこ来場を心から感謝しております。(中山郁子)

### 盛大に三部合同展

#### アニメ部

正式な部になって一年、部員一同はりきって、放課後A棟三階の社会科室で、地味な活動を熱心に続けています。わが部の目的は、絵を描くだけでなく、最終的には動く絵を作ることにある。現在、三年生は卒業製作に腕を揮い、一、二年生は四班に分かれて、独自のな設定のもとに、それぞれ製作を進めている。更にこの部では、唯一の機関誌である会誌発行もしている。副部長を兼ねた女性編集長を中心に、資料の収集から原稿まで手がけ、これにアニメの製作が加わることが多いので、この時ばかりは猫の手も借りたいほど。一月の二十六日から一週間、美術・写真クラブと共にやまのいカルチャー部に展示会を行った。自分たちの力作を、たくさんの方々に見てもらって、ご指導をいただき、今後のはげみにしたいと思っただけです。ことし、アニメに始まり、アニメに終わるような年になりそうです。なお、会場には美術二十、写真六十、アニメ六十の合計百四十点を展示いたしました。

たしました。

(長谷川良孝)

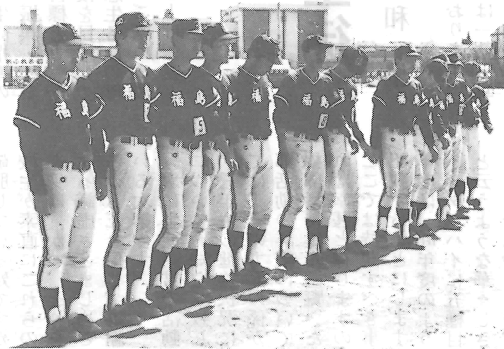
### 滋賀国体、初勝利

#### ソフト部

念願の愛好会から部に昇格し部員一同気持を新たにスタート致しました。ことしの最大の目標は二つ。その一つは四年連続全国インターハイ出場とベスト8、いま一つは国体出場と二つの目標に向かって部員一丸となって練習に励みました。その結果、全国インターハイ四年連続出場いたし一回戦を突破し、ベスト16に入りました。国体は二年振り二回目の出場を果たしました。滋賀国体で悲願であった初戦勝利を遂げ、ベスト8に輝くすばらしい成績をおさめることが出来ました。

そのほかの結果は左記の通り。

五月 春季選抜ソフト部



ソフト部 ③⑥滋賀国体で一勝

ール大会

四月連続優勝

六月 インターハイ県大会 四年連続優勝

八月 県総合体育大会 四年連続優勝

八月 ミニ国体(秋田) 初優勝

十月 県新人ソフトボール大会(福島) 優勝

六月 東北大会 第三位

一年間を振りかえってみると部員たちは厳しい練習によく耐え精一杯頑張ってくれたと思います。(宗像重武)

### 県大会で入賞

#### バドミントン部

バドミントン部は部員約二十名で、内女子が五名です。わずかにコートしか練習場所はないが、それでもみんな放課後または日曜日など、遅くまで一生懸命練習に励んでいます。昨年は特にみんな目標に向かって厳しい練習に堪え、個人個人着実に力をつけたという結果が、インターハイ県南予選での学校対抗優勝という快挙を為し遂げることが出来たと思う。準決勝で最大の敵である郡山商業にあたったが、みんな絶対勝つんだという気迫に満ちあふれ、苦戦はしたものの勝つことが出来た。今まで県大会へ出てはいたが、県大会入賞など夢また夢の話だったが、今回は県南地区の代表であるということが、やらなければならない気を起させ、県大会では準決勝まですべて二対一で勝つという苦しい試合だったが、急成長した大河原、渡辺組の活躍により、第三位という今まで夢だった県大会入賞を為し遂げることが出来た。これも一重に先生方の御指導のおかげです。(代 鈴木七郎)

### 国体連続出場

#### サッカー部

北工サッカー部は、年度当初より県内制覇を目指して連日努力してきました。

いわき・郡山・遠野(岩手県)のフェスティバルへの参加、宇都宮・矢板への遠征試合、筑波大選手を招聘しての合宿・練習会と、近年になく数多くの練習試合を行いました。この体験はこれからも選手に貴重な財産として残るものと思います。本年度は残念ながら県総合体育大会の優勝のみで、全国高校サッカー選手権県大会も三位にとどまりました。しかし個人として本校からは、県南選抜選手に五人が選ばれ県大会で優勝しました。さらに県選抜選手には三人が選ばれ、東北大会を一位で通過し国民体育大会に連続出場しました。佐賀君は県選抜チームの主将としても立派にその重責を果たしました。

チームとして全国大会出場は成りませんでした。が、目標に向かって頑張ったことと惜敗の経験を、大きく発展するための教訓として、今後の生活に役立ててほしいと思います。先輩諸兄の御支援に感謝いたします。(遠藤 雄)

#### 庭球部

#### 鹿兒島めぐす

五十五年の県制覇の次の年、メンバーは若干おちたものの、V2を果たすべく臨んだ県インハイでありましたが、団体三位、個人東北大会出場(源後、伊藤組)に留まり、県総体でも個人二チームがベスト8に入っただけで、全国大会は四年連続出場をのがし、国体への連続出場ものがしてしまいました。

新人チームになって、チーム造りがやや遅れ、ふがない結果に終わりましたが、日を経るにしたがって着々と力をつけ、冬季のインハイ大会に於て、県二位、三位に入賞し、東北大会への出場権を得(五年連続)、来年度へ若干光が見えて来た昨今であります。

この冬場でのトレーニングで、耐える事・力・セオリーの養成にとめさせ、来季の鹿兒島への全国インハイに目標をおきたいと考えております。

(岡部誠彦)

### 東北総体二位へ

#### 弓道部

上位進出を目標にスタートして早や一年が過ぎようとしている。県インターハイでは調子がでず苦しい試合だったが三年生を中心に燃えていた。残る県総体、女子が近似的優勝を決めた。男子は四位であった。この日選考会があり増子晃久が国体選手に選ばれた。翌日の遠征大会で増子が皆中し県総合優勝を飾った。難関東北総体を二位で通り国体出場の原動力となった。これに刺戟され修学旅行帰って間もない県新人戦も優勝することができた。開成山恒例の百射会では水野秀雄が八十八中し優勝した。これも先輩諸兄の多忙極まるどころ夜遅くまで熱心な指導があったことを見逃せない。新装成った同窓会館での合宿は多数のOB各位が参加されその一挙一動は部員の何よりの教訓であった。礼を实践する伝統が弓道部を支え部員の励みとなつて

いる。今年度団体成績次の通り。インターハイ地二位。県総体地区男三位、女一位。

(野内康平)

#### 新人戦、県二位

#### 剣道部(女子)

私たち剣道部女子は、毎日、約二時間、男子に混じって練習しています。竹刀や体の動きの速い男子を相手に、私たち女子は四苦八苦しながらも、厳しい練習を続けています。

そのため昨年は、各種の大会でも、まずまずの成績をおさめることができました。中でも印象深い試合は、新人戦県大会準決勝の対南会津戦です。代表戦まで持ち込んだ末、惜しくも勝ちをのがしてしまいました。

しかし女子部員五名、試合に出るには補欠選手もな

いぎりぎりの人数でこまめに進んで来たことが、私たちにとっては自信につながる第一歩のように思えます。これを機会に、一つの大きな目標「インターハイ出場」を目ざして、あせらず、確実に自分の力を十分発揮できるように、さらに練習を続けていこうと思います。(植田賢子)

### 執行部、深夜まで

#### 定時制生徒会

昨今の本会の会員減少にともない、生徒会活動はいろいろな面できびしい状況におかれています。このよう

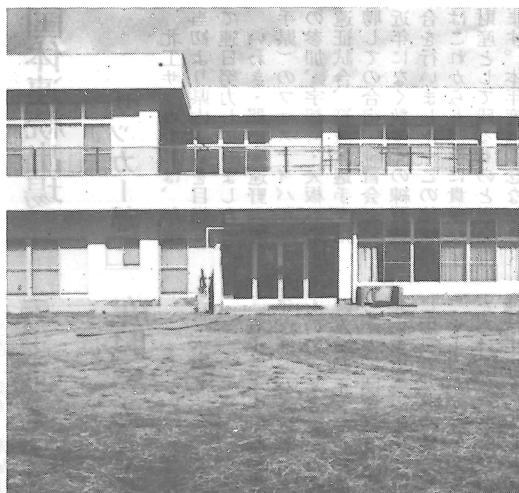
な中で、本年は特に従来実施してきた行事を一つも減らすことなく、行事内容を現況に即したこれから先の生徒会の方向づけをスローガンに会員の協力と執行部の創意工夫をもって努力してまいりました。

予餞会、定通体育大会、その他の各種行事は百分満足のいくものではありませんが、執行部の諸君が深夜まで疲れた体にむち打ってくれた姿を想い出すとき、この一年の会の努力がこれから先、待ちうけて

いる、どのような困難をも乗り越えていく力となると信じております。新会員を迎えるに当たり、本年におとらぬ努力と工夫をもってこの会を盛り上げていくか、ごでありませ。(羽二生幸雄)

### (続)同窓会館 建設協賛ご芳名

- ◎法人企業(あいうえお順) 安積興産(株) (有)朝日陶管店
- 荒木鉄筋工業所 池添電設(株) 伊藤組建設(株) 伊藤設備(株) (有)今川豊店 (有)遠藤板金工業所 オノヤスポーツ用品(株) 小野屋金物店 川木タイル (株)京和商事(株) 郡山塗装 (有)斎藤工業 (有)佐久間防水工業所 (有)菅野砂利店 (株)関根鉄工建設 高田嘉平商店 タケイ工業(株) 鉄屋本店 郡山営業所 (株)東日クリナー 東線鋼建(株) 郡山営業所 東北トヨ一販売(株) 堂前建業所 東北ボール製品販売(株) 郡山営業所 (有)根本砂利店 (株)根本組 福島県電気工事重支店 福島菱光コンクリート工業(株) (株)北信商會 (株)丸忠佐藤木材店 向井建設(株) 仙台支店 (株)本宮サツシセンター (有)渡辺安衛商店
- ◎同窓生(郡山工高) 26 機械 加藤和夫 28 建築 武田 久 51 電子 柳沼善久 (郡山西工) 40 電気 (B) 達崎 守 (郡山北工) 52 電気 (1) 吉田良司 郡山西工卓球部



1980. 12 落成の同窓会館

# 同窓会館、全開中

太平洋戦争の真つ最中、一九四四年五百淵にあった郡山商は機械一、化学二等級の郡山工業に転換。そのころ郡女三、郡工三、安女五、安積五学級。今の郡山の県立高一学年五五、私立四六、定時制四、計一〇五学級。その後、一九六三年経済の高成長、新産都市の折、今日郡山高の地大槻町に郡山西工。一九七七年郡

工・郡西は全日制十二学級を二減じて郡山北工として発足。校地、郡工の三倍、郡西の一・五倍。一九四九年桃見台に移転した跡の郡工跡地は今、夜間の安積二高。両地に両母校の記念碑が建つ。  
郡山北の前身、両校の悲願であった同窓会館は一九八〇年末に落成。建坪四八七平方米、鉄筋コンクリー

## 郡山北工現勢

一九八一・五・一

ト二階建、経費は五、五〇万円。会館は校地のド真ん中であり、生徒会・文化・体育クラブ・ホームルーム・会議等に活発かつ有効に利用されています。

進路	全 日 制		進 路	教 職 員		生 徒		校 地 等	位 置
定	就職地域別	産業別	進	定 全	定 全	校 運 動 場 地 平 方 米	標 北 東	標 北 東	
国 鉄 郡 山 他	宮 北 東 福 島 他 城 関 京 島 県 東 園 県	第 三 次 学	計 時 日	計 時 日	計 時 日	( ) ( ) ( )	高 緯 經	高 緯 經	
六六	一七六	〇〇〇	七五	元	元	三三三	三三三	三三三	三三三

## 支 部 連 絡 先

支 部 名	支 部 長 名	卒 業 年 度	勤 務 先	〒	現 住 所
東 京 方 部	小野寺 昭	23キ	日東紡電材(株)ロックファイバー営業	145	東京都太田区北嶺町27-4
宇 都 宮 方 部	吉田 良毅	31キ	富士重工(株)宇都宮製作所生産部第二生産課	320	栃木県宇都宮市今宮4-1973-3
水 戸 方 部	山崎 功	29キ	(株)日立製作所水戸工場	312	茨城県勝田市中根4950-14
日 立 方 部	山川 敏夫	27キ	(株)日立製作所日立工場	316	茨城県日立市金沢町金沢団地74-5
埼 玉 方 部	土屋 勇	29キ	日産ディーゼル(株)上尾工場	362	埼玉県上尾市愛宕町2-17-9
白 河 方 部	清水 国雄	25キ	清水建設工業(株)	961	白河市南町44
郡山市役所方部	加藤 宰司	25キ	郡山市役所	969-13	安達郡大玉村玉井字薄黒内127
日東富久山方部	高橋 英雄	25キ	日東紡績(株)富久山工場	963	郡山市安積町紫宮27-10
会 長	渡辺 達英	24キ	文房具商	963	郡山市麓山1-16-28
本 部 事 務 局 長	広江 力男	24キ	県立郡山北工業高等学校	963	郡山市富久山町八山田字大林1 (学校内)

味とボリュームの弁当

# ホクト一食品

郡山市山崎305-90 TEL 22-0166

同窓会予算・決算報告

1. 収 入

項 目	昭 55 決 算	昭 56 予 算
繰越金	64,174	165,854
会費	870,000	1,263,000
入会金	435,000	2,463,000
利子	15,240	100
雑収入	67,380	95,825
合 計	1,451,794	3,987,779

2. 支 出

項 目	昭 55 決 算	昭 56 予 算
基 本 金	261,000	265,200
本 議 費	198,480	170,000
会 務 費	43,710	50,000
事 業 費	65,870	435,000
通 信 費	130,200	120,000
慶 弔 費	56,450	100,000
旅 費	142,080	120,000
誌 編 集 費	33,800	50,000
外 渉 費	164,350	165,000
記 事 費	70,000	80,000
予 備 費	120,000	32,579
返 金 計		2,400,000
合 計	1,285,940	3,987,779

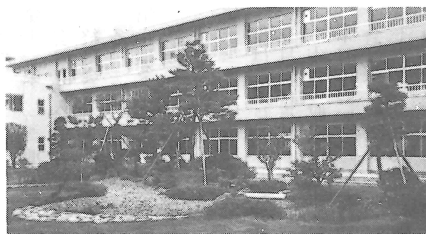
基本金会計 (昭55)

1. 収 入

項 目	金 額
繰越金	2,010,027
利子	68,338
昭和56年度分	265,200
合 計	2,343,565

残 金	2,343,565
-----	-----------

(事務局・会計担当 広江力男)



A・B棟間庭園

合 計	定時制	全 日 制				
	電気 機械	化 工	建 築	情 報	電 子	電 気 機 械
四四六名	一八名 二七名	七五名	三九名	四〇名	四一名	二四名 八二名

昭和56年度  
新入会員



昭和56年度

定例総会報告

昭和五十六年度定例総会は、五月十七日(日)午後二時より「さくら会館」の三階において職員、来賓多数の御臨席を得て、同窓生二十三名が参加して開催されました。

総会が始まり、会長より出席された職員、来賓の紹介があり和気あいあいの内に議事が進み、おもな内容は決算報告、予算案等が別紙の通り可決され、その他の議案もなく役員改選に移り現役員留任となり、総会は全て終了いたしました。続いて恒例の懇親会が盛大に行われました。



事務局からの報告

教職員異動

◆転出職員カッコ内転出先  
 ●退職者 賀川力、長崎修治、宇賀神喜嗣、宗像次男、水田守、鈴木千恵子、古川博二、高宮正春、佐藤亥佐美  
 ●転出者 丹治元安(二本松工) 水田守(二本松工) 及川利弥(社教主事) 吉田正夫(白河実) 池添祥史(二本松工) 小田省悟(内郷高) 馬場彦吉(福工) 増子孝(本宮高) 樽川広喜(石川高) 佐藤貞雄(須高) 大河峯夫(県庁文化課) 今川昇一(県庁福利課) 刈屋俊樹(喜東)

多方工)  
 ◆転入職員カッコ内前任校  
 山口博(平工) 箱崎和雄(磐女) 渡辺昭二(二本松工) 影山清(社教主事) 揚妻邦男(二本松工) 国分義功(白河実) 大橋健夫(安達高) 中山郁子(塙工) 佐久間和司(福工) 溝井清治(本宮高) 古宮正雄(小野高) 吾妻健則(船引高) 二瓶秀樹(西会津高) 佐藤洋一(田村高) 加藤正明(郡山養渡辺典夫(福工) 西山理(須二) 斎藤勇治(安達東)

◆作業服・制服・白衣 製造◆

★新刊 書籍・雑誌・教科書・北工教科書 辞典・参考書・文庫 etc 取扱店

株式会社 浜津被服

代表取締役社長 浜 津 平 一  
 取締役営業部長 浜 津 幸 平 (機3期卒)

福島県郡山市清水台二丁目5番3号 ☎32-2631

(有)松文堂書店

堂 前 店 郡山市堂前町(如宝寺前) ☎322362  
 さくら通り店 郡山市清水台(八幡プラザ) 1F ☎221735

# 同窓会規約

## 第一章 総 則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北工業高等学校(以下「母校」と称す)内におく。

第二条 本会は会員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。  
一 母校の発展と会員の相互扶助に関する事業  
二 会誌・会員名簿・その他図書印刷物の刊行  
三 その他目的達成に必要な事業

## 第二章 会 員

第四条 会員を分けて普通会員、名誉会員、特別会員とする。  
一 普通会員は県立郡山工業高等学校・県立郡山西北工業高等学校・県立郡山北工業高等学校の出身者とする。  
二 名誉会員は母校の旧校長とする。

三 特別会員は母校の現

## 旧教職員とする。

## 第三章 役 員

第五条 本会に次の役員をおく。

- 一 会 長 一名
- 二 副 会 長 四名
- 三 監 事 三名
- 四 常任幹事 若干名
- 五 幹 事 名
- 六 事務局次長 一名
- 七 事務局次長 名

第六条 役員は本会規約のとおりでである。  
一 会長は本会を代表し会務一切を統括する。  
二 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代行する。

三 監事は本会の運営及び会計を監査し、幹事に出席し発言できる。  
四 常任幹事は本会の事業を執行する。  
五 幹事は本会の事業を審議する。  
六 事務局次長は会務の処理にあたる。

七 事務局次長は事務局長を補佐し庶務を分担する。  
第七条 本会の役員は次の方法によって選出し、その任期は二年とする。  
一 会長・副会長・監事は総会において選出す

二 常任幹事・幹事・事務局次長は会長が委嘱する。  
三 事務局次長は事務局長が選任する。  
第四章 会 議  
第八条 本会の会議は総会・幹事会・常任幹事会とする。  
一 総会は本会の最高決議機関であって、毎年一回会長がこれを召集する。但し幹事会が必要と認められた場合は、臨時に開くことができる。総会は出席人員をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意を必要とする。  
二 幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・幹事・監事で構成し、総会につぐ決議機関である。  
三 常任幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・監事で構成し、会務を審議執行する。  
第九条 必要に応じて三役会を開くことができ、正副会長・事務局次長で構成する。  
第五章 会費・会計及び諸帳簿  
第十条 本会の経費は会費・入会金・事業収入・寄附金をもってこれをあ

てる。  
第十一条 普通会員は入会の際、入会金三千円と、終身会費三千円を納入する。  
第十二条 本会の入会金・終身会費の二割を、基本金として積立てる。  
第十三条 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終る。  
第十四条 本会の収支は毎年三月末日において決算し、総会に報告する。  
第十五条 本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。  
一 規約綴  
二 会員名簿  
三 役員名簿  
四 会計簿  
五 記録簿  
六 文書綴  
七 備品台帳  
八 その他必要と認められた帳簿  
第六章 雑 則  
第十五条 本会に次の集会を設けることができる。  
一 各支部会  
二 各科会  
三 同級会  
四 その他の会  
これらの運営はそれぞれの規約による。  
第十六条 本会に次の内規を設ける。  
一 表彰内規  
二 旅費内規  
三 慶弔内規  
四 会計内規  
第十七条 本会会員は氏名・住所・勤務先等に変更があった場合、直ちに事務局に連絡しなければならぬ。  
第十八条 規約の変更は総会において、出席会員の過半数の賛成を得なければならぬ。  
第七章 附 則  
一 この規約は昭和五十五年五月十八日より施行する。  
二 この規約は昭和五十五年五月十八日より施行する。

## 編集後記

昨冬の積雪ニメートル、真冬日七日と打って変わったの暖冬で郡山の冬は四マイナス四度なのに、最低気温も県立高校の卒業式の三月一日あたりでした。戦争中、国家総動員体制下、郡山工が発足して三十八年、郡山西以来十九年、郡山北工発足以来五年。同窓生一、一七九名。国内外の各界各層に活躍の姿は目を見はるばかり。第一回の卒業生は丁度五十歳。現在、全日制三十、定時制八の学級編成。生徒会活動のめざましかった所を特集しましたが、陸上・野球・バレー・バスケットクラブなど来年度に期待したいものです。生徒会機関誌は(全)北領第五号(定)よざら第十五号が最近発行されました。昨年の卒業生からは職員室前に植込み、今回は玄関東側に庭園を贈呈して頂きました。

おいしいパンとケーキ  
**大友パン店**

郡山市さくら通り ☎23-6536

よい子が育つよい牛乳  
あぶくま高原牛乳

**岡田乳業 小原田販売所**

郡山市栄町5-18 ☎33-3281